

報道関係者 各位

兵庫県神戸市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

兵庫県神戸市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

記者提供資料（平成22年2月23日）

神戸市新型インフルエンザ対策本部（保健福祉局健康部地域保健課） 川瀬、小西

TEL：078-322-5256 内線3310~1

E-mail:tiikihoken@office.city.kobe.lg.jp

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す 新型インフルエンザウイルスについて

神戸市内の新型インフルエンザ患者から分離された新型インフルエンザウイルスから、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す遺伝子変異が当市において初めて確認されましたので、その概要をお知らせします。

報道に際して、患者及びご家族のプライバシーに十分配慮していただくようお願いいたします。

1 検査結果

- (1) 2月8日に神戸市環境保健研究所において、オセルタミビルの耐性マーカーH275Yが確認された。
- (2) 確認のために国立感染症研究所に検体を送付し、薬剤感受性試験を行った結果、2月23日、オセルタミビル耐性が確認された旨の連絡を受けた。（なお、ザナミビル（商品名：リレンザ）は感受性が確認されている。）

2 患者概要

- ・神戸市在住の5歳男性
- ・基礎疾患なし
- ・ワクチン接種歴：季節性インフルエンザワクチン接種済み。
新型インフルエンザワクチン未接種。

3 経過

- | | |
|-------------|--|
| 平成21年10月26日 | 発熱し近医を受診。26日から4日間タミフル服用。 |
| 10月30日 | 解熱せず咳も続くために病院を受診。肺炎と診断され入院。
入院時の迅速診断キットA型、B型ともに陰性であったが、臨床的に新型インフルエンザが疑われたので、検体採取。 |
| 11月2日 | 神戸市環境保健研究所で実施したPCR検査で、新型インフルエンザ陽性を確認。 |
| 11月3日 | 軽快治癒、退院。 |

なお、患者周囲でインフルエンザの感染拡大や重症例、耐性が疑われる症例は確認されていません。

4 その他

- (1) 厚生労働省によれば、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。
- (2) 全国でタミフル耐性が確認されたのは、2月22日までに48例です。（厚生労働省調べ）

報道関係者 各位

兵庫県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

兵庫県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

記者発表（資料配付）				
月／日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者 (担当係長名)	その他配布先
2/23 (火)	新型インフルエンザ 対策本部事務局 〔疾病対策課 業務係〕	3284 (内線) 078-362-3214 (直通)	疾病対策課長 田所 昌也 (廣田 義勝)	—

**オセルタミビル(商品名：タミフル)耐性を示す
新型インフルエンザウイルスの検出について**

オセルタミビル(商品名：タミフル)耐性を示す新型インフルエンザウイルスが検出されましたので、お知らせします。

なお、患者は既に回復し、周囲へのタミフル耐性ウイルスを疑う感染も確認されていません。

1 経過の概要

(1) 兵庫県では、インフルエンザの流行動向を把握するため、医療機関の協力を得て、インフルエンザ様患者から採取した検体ウイルスの型を確認するウイルスサーベイランスを実施しています。

(2) 県立健康生活科学研究所において、医療機関から提供を受けた12月分47検体について、ウイルス分離、同定作業を実施後、順次タミフル耐性の検査も実施していました。

平成22年2月12日に1検体で耐性のウイルスが認められたため、2月15日に国立感染症研究所に確認検査のため送付したところ、2月23日、国立感染症研究所からオセルタミビル(商品名：タミフル)耐性、ザナミビル(商品名：リレンザ)感受性が確認された旨通知がありました。

2 患者概要

- ・ 西宮市在住の9歳男児
- ・ 基礎疾患：なし
- ・ ワクチン接種歴：新型、季節性共なし

(経緯)

平成21年12月9日 39℃の発熱、近医を受診。簡易検査A型陽性。リレンザ処方
平成21年12月11日 解熱、軽快

3 家族等の状況

学校、家族でタミフル耐性ウイルスを疑う感染は確認されていません。

【参考】

- ・ タミフル耐性ウイルスの確認は全国で51例目、兵庫県内で2例目(1例目神戸市)
- ・ 厚生労働省によるとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの重篤度(病原性)には直接影響を及ぼすものではないとされる。

※ 報道に際しては、患者の個人情報に特段の配慮をお願いします。

報道関係者 各位

鳥取県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

鳥取県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

資料提供	
平成22年2月23日	
担当課 (担当者)	鳥取県新型コロナウイルス 対策本部(健康政策課・石田)
電話 (内線)	0857-26-7153 (7153)

抗インフルエンザウイルス薬(タミフル)に耐性を示す新型コロナウイルス
ウイルスの確認について

県衛生環境研究所では、タミフル耐性ウイルスの出現を監視するため、定期的にタミフル耐性遺伝子の確認検査を実施していますが、県内の新型コロナウイルス患者から分離された新型コロナウイルスから、タミフル(オセルタミビル)耐性を示す遺伝子が、本日、国立感染症研究所で確認されましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1 確認の経緯

- (1) 2月10日(水)に、県衛生環境研究所において10株の分離ウイルスについて遺伝子解析を実施し、そのうち1株についてタミフル耐性遺伝子(遺伝子変異)が確認されました。
- (2) 分離ウイルスを国立感染症研究所に送付し、同所において詳細な薬剤感受性試験を行ったところ、本ウイルスは、タミフル(オセルタミビル)に耐性、リレンザ(ザナミビル)に感受性であることが、2月23日(火)に確認されました。
*参考 耐性: 薬剤に対して抵抗力を持ち、薬効が効きにくくなること
感受性: 薬剤が有効に作用すること

2 患者の経過等

- (1) 患者: 鳥取保健所管内在住 9歳 男性
- (2) 基礎疾患: なし
- (3) 経過

平成21年12月17日夜	37.4度の発熱
12月18日夕	3.8度台の発熱、咽頭発赤、咳があり医療機関受診 迅速検査でA型陽性 ウイルス用検体(鼻汁)を採取(投薬前) リレンザを処方
12月19日	朝は37度台、夜は38度台の発熱
12月20日	解熱
- (4) 家族等の状況
患者のほか兄弟2名が、新型コロナウイルスと診断され、2名とも平成21年12月15日よりタミフルを服用し、解熱。

3 その他

- (1) 県衛生環境研究所では、今回の10株を含め新型コロナウイルスウイルス30株について、遺伝子解析を実施しているが、タミフル耐性遺伝子が確認されたのは今回が初めてです。
- (2) 全国で、タミフル耐性ウイルスの確認は、2月22日(月)までに48例の報告があります。
- (3) 厚生労働省によると、タミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

(参考)

- タミフル耐性ウイルスであっても、リレンザ等他の抗インフルエンザ薬は効果があります。
- 鳥取県内において、第7週(2月15日~21日)の定点当たり患者数は1.62と減少してきましたが、流行は継続しています。
手洗い、うがい、咳エチケット等の感染予防策の徹底や新型コロナウイルスワクチンの接種により、かからないことが大事です。



報道関係者 各位

愛知県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

愛知県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが検出されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成22年2月23日（火）
愛知県健康福祉部健康担当局健康対策課
新型インフルエンザ対策室
担当 照井・増野 内線 3160・3297
（ダイヤルイン）052-954-6272

オセルタミビル（商品名：タミフル）に耐性を示す遺伝子 変異を有する新型インフルエンザウイルスについて

本日、新型インフルエンザの感染が確認された患者（10歳女児）から、オセルタミビル（商品名：タミフル）に耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザウイルスが確認されました。

なお、厚生労働省によるとオセルタミビルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

また、報道に際しては、患者のプライバシーに十分配慮していただくとともに、医療機関への直接のお問い合わせは控えていただくようお願いいたします。

1 検査結果

愛知県衛生研究所の遺伝子解析の結果、オセルタミビル耐性を示す変異遺伝子と感受性遺伝子の混在が確認されました。（平成22年2月8日判明）

国立感染症研究所において詳細な検査を行ったところ、当該ウイルス検体には耐性株と感受性株が混在しており、薬剤感受性試験においては、オセルタミビルに感受性があるとの検査結果となりました。なお、ザナミビル（商品名：リレンザ）についても、感受性があることが確認されました。（本日判明）

参 考

耐 性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。

感受性：薬剤が有効に作用すること。

2 新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）患者の概要・経緯

年 齢	10歳
性 別	女
住 所	一宮市
主症状	発熱（39℃）、下気道炎

経緯	11月20日	一宮市内のA医療機関を受診。簡易検査の結果、A型陰性。呼吸障害が認められたため、一宮市内のB医療機関へ救急搬送され、そのまま入院。簡易検査の結果、A型・B型とも陰性。タミフル投与。
	11月24日	検体採取。
	11月25日	症状軽快。退院。
	12月1日	B医療機関を再受診し、快復を確認。
	12月24日	愛知県衛生研究所において新型インフルエンザウイルスを分離。

3 その他の検査状況

- (1) 現在までのところ、愛知県衛生研究所において実施した 142 例の遺伝子解析において、本例を含め 3 例のオセルタミビルに耐性を示す遺伝子変異を有する新型インフルエンザウイルスを確認しております。
- (2) 全国では 49 例目の検出例となります。県内では 5 例目となります。

本件は、平成 21 年 10 月 8 日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について(改訂版)」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により薬剤耐性を確認したことから公表を行うものです。